

里山をバックに
田園風景が広がり
四季折々に
色々な表情を見せる
自然豊かな
農村地域

くもべ
雲部
ぐるっとマップ

teku
teku

発行：くもべまちづくり協議会
雲部地区自治会長会
協力：丹波篠山市まちづくり部 景観室
デザイン：有限会社ささと
—— 2025年3月発行 ——





くもべ 雲部ぐるっとマップ

集落の見どころ

西本荘は、中世の荘園「多紀荘」の中心を成した集落で、集落中央の慈眼池に弁財天が祀られ、山裾から池に至る灌漑用の水路は、生きものの生息に配慮した「農都のまほろば水路」が令和四年に整備されています。

東本荘には、県下で2番目の規模を有する前方後円墳の雲部車塚古墳があり、陪塚や濠を有し、田園のシンボルとなっています。山裾には、丹波を代表する紅葉の名刹洞光寺があり、多くの参拝者でにぎわいます。

県守口は、車塚古墳の北に広がる田園地帯で、東の太子堂に向う古道の峠道には、石積み一角に北向き地藏が祀られています。

県守中は、山手の春日神社や稲荷神社と共に茅葺き民家が山裾に分布し、山間農村の原風景を髣髴させる美しい田園景観を形成しています。

奥県守は、高野川上流の谷奥に位置する集落で、室町時代創建の法円寺は、ササユリの群生地で、6月境内の斜面に500株といわれるササユリが咲き誇ります。

泉は、篠山川右岸の沖積地に形成された集落で、篠山川沿いの桜並木は、20年前地域の方が植栽されたもので、一見の価値があります。

佐貫谷は、坂の谷を語源とする集落で、いぼ取りの日吉神社、歯の神の白山神社、疫病封じの八坂神社等、御利益の社がそろっています。

春日江は、雲部西側の中心を成した集落で、南北朝期に奈良より春日明神を勧請するなど、古来からの歴史文化が息づき、集落中央部の公民館（円満院跡）には、カヤの大木がそびえ地域のランドマークになっています。

倉谷は、岡田山西側の南北に細長い谷あいの地域で、集落北側の倉谷天神池畔から眺望する田園風景は、雲部を代表する絶景です。

丹波篠山市の地図



雲部は、見どころがいっぱい。

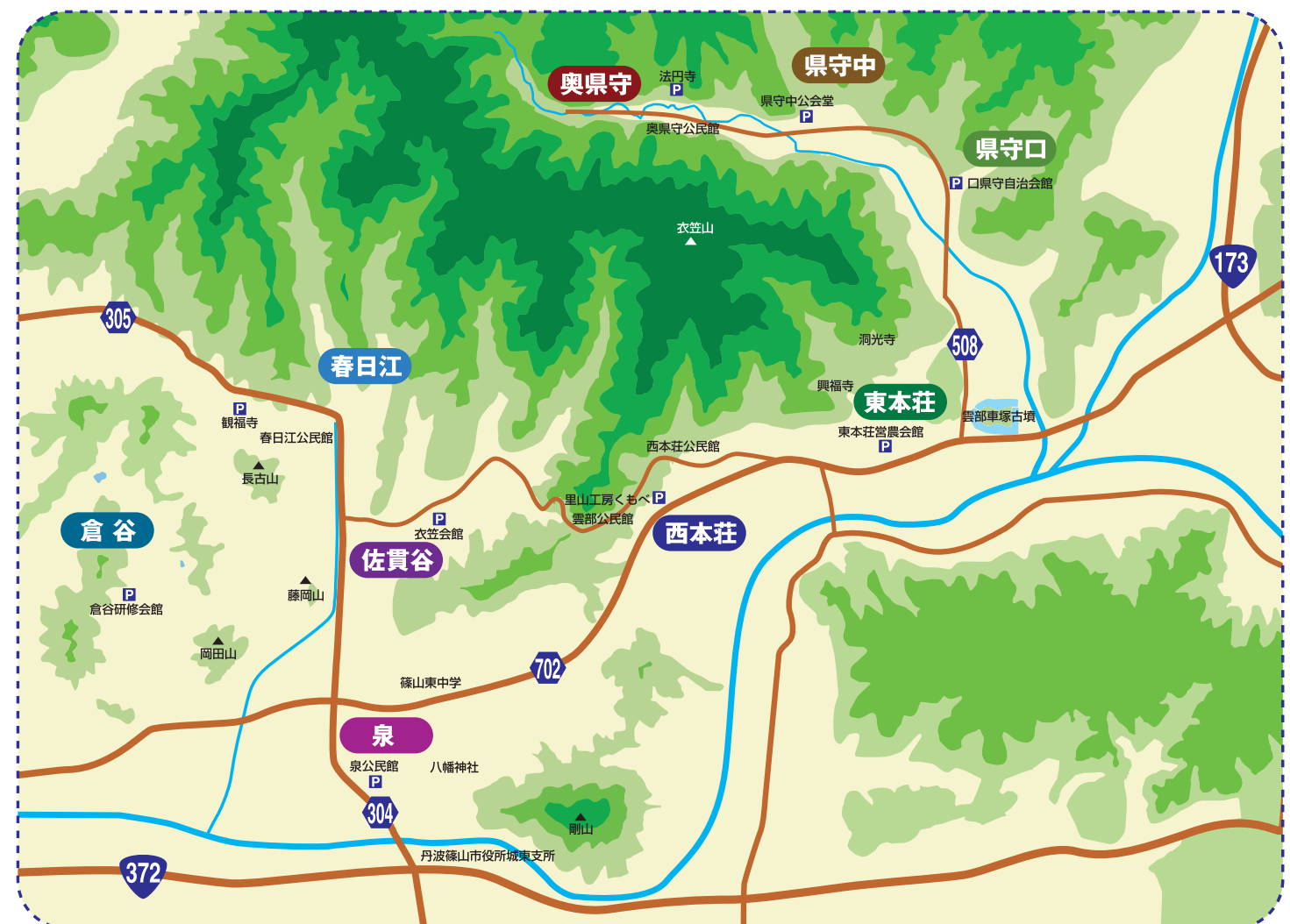
マップ片手にゆっくり集落めぐりを楽しみませんか・・・連なる多紀の山並み、広がる田園の自然豊かな地に、古来から人々の営みが息づく地域です。

春は、桜やササユリが咲き誇り、里山は新緑で瑞々しく、水を張った田園は陽光に輝き、やがて川面に蛍が舞い、真夏は蝉しぐれに包まれます。ヒガンバナが畔を彩る秋は、一面に黄金色の大地が広がり、丹波霧と共にススキが揺れ、山々が黄葉・紅葉に色づきます。

県下第2の規模を誇る前方後円墳の車塚古墳をはじめ、石碑や山城などの史跡や丹波を代表する紅葉の名所洞光寺など、古い歴史を有するお寺や神社、祭礼など、雲部には日本のふるさとの原風景が、里人の暮らしと共に息づいています。

四季折々の雲部の里をマップ片手に探勝してみませんか？

あなたの目で雲部の「いま」をお楽しみ下さい。



にしほんじょう

西本荘



大円山慈眼寺

大円山慈眼寺には、本尊十一面観世音菩薩座像が安置され、元文楽寺にあった曼陀羅の掛け軸が6本ある。



西本荘の全景



里山工房くもべ (旧雲部小学校)

西本荘は、衣笠山麓から本荘川が南流する区域で、慈眼寺のある山裾に家屋が集積し、西端には旧雲部小学校が立地している。字宮の谷に鎮守の春日神社が建立され、参道にある大日堂には、衣笠山文楽寺にあった大日如来像が安置されている。

●人口70人 29世帯

《各集落の人口・世帯数は令和6年12月末現在》



旧雲部小学校のソメイヨシノ



慈眼池に流下する農都のまほろば水路



大日堂

衣笠山の元文楽寺にあった牛の守護神である大日如来像を安置している。



弁財天社

慈眼池の弁財天社。



鎮守の春日神社

宮の当祭が伝承されている。



眼を患って法華經を信じた人が明治の初めに建立。



興福寺



雲部車塚古墳

前方後円墳の後円墳が残り、天満宮が祀られている。



姫塚



北陪塚

南北に陪塚があり、車塚の前方後円墳の左右を車の両輪のように配されている。



東本荘の全景



東本荘営農会館

東本荘は、衣笠山麓から市谷川が南流する区域で、興福寺のある山裾に家屋が集積し、東端の平地には兵庫県第二の規模を誇る前方後円墳雲部車塚古墳が位置している。

集落には村祈祷の「宮の当」や伊勢講等の祭事や儀礼が座株組織とともに継承されており、暮らしの中に歴史文化が息づく地域である。●人口118人 55世帯



ひがしほんじょう

東本荘

洞光寺

南北朝時代創建の古刹 宝鏡山洞光寺の紅葉は有名。

あ が た も り な か

県守中

あ が た も り く ち

県守口

📷 県守口集落の景観



口県守自治会館



県守口から雲部車塚古墳を望む

県守口は、篠山川と合流する高野川下流の南北の谷筋の入口に位置し、雲部車塚古墳を望む田園が開けた地域である。特に水ぬるむ早春には、春霞の水を張った田園に若葉が浮かぶ姿は、本当に美しく、雲部を代表する絶景です。

●人口72人 36世帯

県守の地名は、県主（古代の県を支配する在地首長）に由来すると言われている



シダレザクラ



参道に33体の
観音菩薩が
並んでいる。

大師堂



東の大師堂に向う
古道の峠道には、石積みの
一角に北向き地蔵が
祀られています。

応仁坂（おにざか）の石垣に
北向地蔵



石柱の道標



塞の神（さいの神）集落の出入口

📷 茅葺き民家の残る田園風景



県守中公会堂

県守中は、高野川中流の山間地に当たる地区で、家屋間には小さな古墳の塚や小祠、地蔵、灰屋、塞の神、石碑等が分布しており、豊かな自然とともに山間農村の原風景を彷彿させる佇まいが残っている。

●人口25人 14世帯



母屋と離れ、
土蔵が一体となり、
土掘で囲まれた
屋敷。

家屋の佇まい



境内には
大杉や
美しい竹林を
見ることが
できる。

稲荷神社



高野川沿いに植栽されたソメイヨシノ



石段を上った
右上には、
いごり塚古墳が
ある。

春日神社

おくあがたり

奥県守



奥県守への入口にある常夜灯



奥県守集落の景観



法円寺駐車場

篠山川支流の高野川上流の谷奥に当たる地区で、家屋は山麓の緩斜面地に散在分布している。現在も茅葺民家が9棟残っており、良く手入れされた畔や畦畔木とともに地蔵、小祠、常夜灯が分布する佇まいは、山間農村の原風景を想起させる美しい景観となっている。

●人口42人 19世帯



法円寺の境内

衣笠山の元文楽寺の薬師如来像を安置している。山門は雲部小学校にあった奉安殿（天皇の写真をまつる建物）の一部を使用。



法円寺裏山のササユリ



シダレザクラ



稲荷神社

中井一統の彫刻が施されている。



八幡神社の祠



よし池古墳袂のソメイヨシノの大木



篠山川の桜並木



龍泉寺の鐘



春日江川堤防からの夕景

泉の地名は、水に由来。篠山川の沖積砂州の微高地に家屋が立地し、そこから東山手の剛山尾根の鼻に建立された八幡神社に延びる参道によって構成された農村集落であったが、その後県道が整備され、沿道に住宅市街を形成している。

●人口180人 99世帯



泉公民館の駐車場



剛山を望む風景

いずみ 泉



鎮座する宮山に向って伸びる八幡神社の参道



剛山と泉集落

さぬきだに 佐貫谷



左：熊按神社遙拝所 右：白山妙理権現



白山神社

齒の神として信仰されていた。社殿には蛇を手にする女神の像が祀られている。



日吉神社山麓からの田園風景



衣笠会館

佐貫谷は、衣笠山から緩やかに西南に開けた谷あいの地域で、多紀連山の山岳信仰に由来する社寺が分布している。白山神社もその一つで、衣笠山の文楽寺から移築したものと伝承されており、地域では親しみをこめて「権現さん」と呼んでいる。

大日堂の位置する山裾には、氷室という字があり、氷室跡と伝えられている。

●人口63人 29世帯

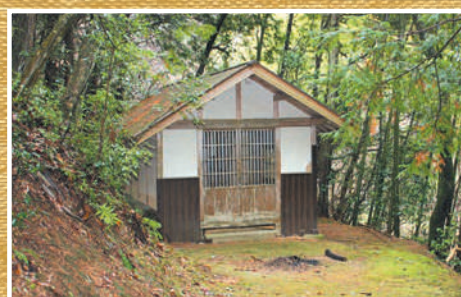


古道芦坂の峠道を彩る桜並木

デキモノ封じの神様として信仰されている。お猿が御幣を持った姿の像が祀られている。



日吉神社



大日堂

当時、流行した疫病封じとして祀られたとのこと。



八坂神社

かすがえ 春日江



熊按神社

平安時代に創建。熊罥（くまわに）が語源といわれ、熊は神の意味で、日本書紀の八尋大熊罥は豊玉姫（トヨタマヒメ）のこととあり、水神に由来。全国唯一の名を持つ神社。



観福寺から望む集落景観



極楽山観福寺

春日江は、三方を山で囲まれ、春日江川上流の南に開けた沃野に集落を形成。正慶年間（1332年～1334年）に奈良の春日大社の分霊をこの地に移し村名を「春日江」と改めた。明治初期の著しい干害被害のため、養水池を構築、その功績をたたえ明治20年法貴院撰文の作益碑を建立している。●人口159人 66世帯



大谷池谷筋からの眺望



稲荷神社



南北朝時代に開創。平成11年（1999年）に本堂改修。平安、鎌倉、室町時代にかけて筆書きにより写経された大般若経經典が現存する。

極楽山観福寺



観福寺の山門



作益碑



カヤの大木

春日江のシンボルカヤの大木。樹高20m、幹廻り5m



くらたに 倉谷



倉谷に春の訪れを告げる桜並木

倉谷天神池畔からの田園風景



倉谷研修会館

倉谷の地名は、谷に郷倉があった、または佐々婆神社の裏参道の裏谷が由来という。春日江との境の岡田山は、篠山城下町縄張りを担当した松平康重の家老岡田内匠重綱が知行していたのに由来する。自然豊かな里の情景を残しており、倉谷天神池畔から望む人家のない田園風景は一幅の景を構成している。●人口19人 9世帯



桜並木

法面や畦は
草刈りできれいに
管理されている。



天満神社

学問の神様である
天神様（菅原道真）を
おまつりしている。



里道辻の地藏堂



倉谷天神池造成石碑



観音堂

里山工房くもべ （旧雲部小学校）

中庭は遊具が
整備され子供たちの
遊び場として利用
されている。



現在の旧雲部
小学校は地域の
集いと交流の
場です。

弁当販売
金・土・日・月曜日
11:00~13:00
里山工房くもべ
駐車場

1892年 4月 雲部村立雲部小学校創立
2010年 3月 雲部小学校閉校
2013年11月 里山工房くもべ
カフェレストラン・アトリエオープン
2024年 4月 カフェレストラン閉店
●現在は、駐車場での弁当などの販売と
アトリエの運営を行っている。

教室を利用したアトリエには、木工、丹波木綿、革、手作り雑貨など様々な分野の職人・作家さんの
仕事場があり、お気に入りのモノに出会えるかも！

雲部車塚古墳（兵庫県下第2位）

古墳時代中期（5世紀）前半につくられた大規模な古墳で、地方の首長墓と考えられ、
大和王権との関係を探る上で貴重な古墳です。



雲部車塚古墳

●古墳の形と大きさ・・・前方後円墳

全長158m
（兵庫県下で神戸市の五色塚古墳に次いで2番目の大きさ）
後円部 径104m 高さ13m
前方部 幅112m 高さ11m
周囲には周庭帯と呼ばれる外堤をめぐらせています。

●誰の古墳か・・・

丹波篠山地方を支配した地方の首長（近畿地方の政治
勢力とつながりを持った者）の墳墓としてつくられた。
また、崇神天皇の時代の四道將軍（北陸、東海、
山陽、丹波）の一人である丹波道主命（開化天皇の
皇孫）ではないかともいわれている。

見どころいっぱい！

くもベ集落めぐり

雲部地域は、里山工房くもべのある旧雲部小学校から東に、西本荘・東本荘・県守口・県守中・奥県守の5集落。西は泉・佐貫谷・春日江・倉谷の4集落が位置しています。



(写真提供：丹波篠山市教育委員会)